



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとイトちゃん

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

ががが おみ う

議会だより

No.59

平成18年[2006]
11月1日発行

平成17年度
決算認定

P2

予算の補正

P3

先進地に学ぶ

P5

一般質問

P7~11

新しい議会構成

P12



“どっちも がんばれ!”

定しました

一般会計・特別会計 支出総額

145億1,992万6千円



9月定例議会は、教育委員の任命、平成17年度一般会計及び特別会計の決算認定、工事請負契約締結（駅西ポンプ場建設工事委託）、条例の一部改正5件（教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部、非常勤の公務災害補償に関する条例の一部、上郡町消防団員等公務災害補償条例の一部、上郡町国民健康保険条例の一部、上郡町福祉医療費助成条例の一部）、条例制定（企業職員の特殊勤務手当に関する条例の廃止）、平成18年度一般会計及び特別会計の予算補正、義務制第8次教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願など31議案すべてを可決致しました。

また、一般質問には9人の議員が質問に立ち、町政を質しました。

一般会計の内分け



(※17年度の土木費の伸びはハイツあゆみの建設が主な理由です。)

N:H16-H17歳出決算

平成17年度の

決算を認

決算への意見

単位：千円

会計別	H16年度 歳出決算額	H17年度 歳出決算額	
特別会計	7,519,651	6,020,327	
特別 会計 内 訳	住宅改修建設資金貸付事業	5,617	5,051
	国民健康保険(事業勘定)	1,491,855	1,624,350
	国民健康保険(直診勘定)	67,230	21,451
	簡易水道事業	37,339	33,603
	老人保健医療事業	2,086,380	2,043,356
	介護保険事業	986,171	1,028,614
	農業集落排水事業	241,774	250,948
	公共下水道事業	2,216,630	839,547
	山野里工業団地造成事業	2,656	4,504
	研修センター管理運営事業	171,941	128,587
公営墓園事業	212,058	40,316	

議会から

委託料・補助金

・裏付け資料となる証拠調書を明確に！
・補助対象事業の成果の追求が乏しい。
完了の確認のみで終わらせてはいけ
ない。

予算

・流用は適切妥当に！

・きびしい予算編成としながら不用額
が多かった。見積りは慎重に！

水道料金・町営住宅・健康保険

・未収金の回収及び維持管理の徹底を！

老人保健医療

・健康管理指導、病気の早期発見・早
期治療及び生きがい対策で医療費抑
制を！

監査委員から

未収金・滞納

町税・国民健康保険税・住宅使用料
の未収金が増加している。早急に徴収
方策を講じ未収金回収に全力を注げ！
必要でない町営地の処分も検討せよ。
補助金など

交付基準・規則の設定・事業報告書
の作成など早急に改善を図り、統廃合・

廃止を含め、効率的な運用を！
大型事業など

事業の遅れは費用・経費の増大につ
ながる。効率的に事業を実施し、早期
完成を図らねばならない。

教育委員の 再任を同意



上郡町西野山95番地
山本善治郎氏(65才)

水道事業会計

単位：千円

事業名	歳入額	歳出額
収益的収入及び支出	394,326	320,913
資本的収入及び支出	452,808	673,637

資本的収支の差引不足額は、過年度損益勘定留保
資金・消費税などで補填。

予算の補正

一般会計	1億5635万1千円
特別会計	2億1609万6千円
合計	3億7244万7千円
	の増額
(主なもの)	
駅前区画整理	4891万1千円
公共下水道	1億1871万9千円

決りました

工事請負契約

契約の目的	公共下水道事業 上郡町駅西ポンプ場 建設工事 委託
契約の方法	随意契約
契約金額	11億円
契約の相手方	東京都港区赤坂6丁目1番20号 日本下水道事業団

- ・ 出産育児一時金が、30万円から35万円になりました。
- ・ 医療制度改革に伴い特定医療費が廃止され、保険外併用療養費が支給されることになりました。
- ・ 企業職員（水道事業所職員）の特殊勤務手当（漏水修理業務等）月額30000円が廃止されました。

条例が変りました



駅西ポンプ場建設予定地

請願

- ・ 義務制第8次教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件。
 - ・ 出資法の上限金利の引き下げ等、「利息制限法」、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締に関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める件。
 - ・ 道路整備の財源確保を求める件。
- 以上3件を意見書を添えて関係省庁に提出しました。

合併調査検討特別委員会報告

「3年以内」に

6月20日

国民健康保険事業、介護保険事業、各種福祉事業、水道事業及び学校給食に関することについて協議しました。

学校給食について、給食センター建設の「合併後3年を目途」の提案を「3年以内」にするべきだ。また、赤穂市と同じ給食方法をとってもらいたいなどの意見が出ました。

「きちっと」決めるべきだ

6月30日

提案された優先協議6項目の調整方針について協議しました。調整方法で、「新市発足までに調整する」とあるが、きちっと決定して住民の判断をおおぐのが筋だ。

「目途」とか「新市において決定する」とか「当分の間」などの調整案が多い。

優先項目だからこそ、協議会の場で決めるべきだ。

「良い点」を主張するべきだ

8月8日

第11回合併協議会の報告を受け協議しました。

学校給食について、「3年以内」というのが議会の意見ではなかったのか。また、塵芥処理についても、「ごみの分別収集は上郡町が進んでいる。町の良い点も主張するべきだ」などの意見が交わされました。

先進地に学ぶ



総務文教常任委員会

小中一貫教育と 税徴収について研修

平成18年7月27日～28日
熊本県とみあい富合町・美里町みさと

小中一貫教育特区認定を受けた富合町の、教育課程基準によらない弾力的な教育を視察。基礎教科の重点的指導は当町と方針を同じくしており、今後は発展的な学習と、伝統文化活動などどう取り入れていくかの示

俊をいただいた。また、美里町では、税を徴収する方法の具体的な例を、また納税者に対する義務意識を高める啓発活動などを学び、当町において参考となる研修となった。

福岡県玄界島 地震災害復旧に学ぶ

日程 7月12日～13日
研修先 福岡市西区玄界島

博多湾の入口付近に浮かぶ周囲約4kmの島、玄界島に平成17年3月地震が発生した。海から採取した石を積み上げて斜面に住宅を建設していた為に大きな災害となった。

同年5月「玄界島復興対策検討委員会」を島民中心に立上げ、全員が私有財産を市に差し出し、市による復興を要望した。地元と市が協力し短期間で事業が進んでいった。

当町においても災害時に反映出来るべく大変有意義な研修でした。



土木水道常任委員会

地域の物産から 振興機能を学ぶ

日程 6月28日～29日
研修先 新潟県新潟市・五泉市ごせん

五泉市は、新潟県のほぼ中央に位置し、緑豊かな山々と清流に包まれた肥沃な大地から生み出す作物と地場産業である織物が全国的な生産地となっております。

地域の魅力を活かした観光と物産の振興機能を学び、県内一の拠点施設の視察と、子育て支援、高齢者の生きがい活動について研修してきました。



厚生経済常任委員会



議会運営委員会

以上の説明を受けて研修を行いました。それぞれ町の方針や地域性(真及び郡部の方針等)によるものもありますが、今後上郡町議会運営にも参考にすべきところが多く見受けられました。

町議会への関心を持ち議会を身近に感じていただくため、模擬議会(小中学生・女性など)の要請があれば議場を開放する。住民を代表する機関及び傍聴者が感じたことのアナケート調査。全員協議

町民に開かれた 議会運営について

日時 平成18年7月3日～4日
研修先 宮城県亘理町・山元町わたり

会で全議員が共通理解の下に報告書を取りまとめ、定例会終了後速やかに議会運営と活性化の進捗状況をチェック。土曜日曜の休日議会の開催などを実施している。また、町議会への関心と理解を深め住民からの信頼を強めるために、議員と住民との懇親会を開催している。

「読まれる 広報紙」を 常に意識して

平成18年6月26日～27日
宮城県 大和町たいわ

大和町における広報紙づくりは、議会の審議内容を中心に、議会活動の状況や行政の動きを広く町民に知ってもらうことに主眼を置いている。

編集方法には、当町になかったアイデアがいくつもあり、今後の紙面づくりに活用できる、実り多いものであった。



広報委員会



工藤 崇 議員

問 町長は「合併の期日は、夏までに決まる。いつまでもだらだら協議をやるのはよくない」と言ってきた。合併協議もすでに3年になるが未だ

答 は時間も予算も無駄

「合併期日」も決めない協議会は無駄

に期日の提案さえもしていない。これはゴールも決めずにマラソンをしているのと同じで、協議することに意味が見えない。

答 タウンミーティングで

も「9月に合併期日を提案する」と言ったが、赤穂市長との詰めができなかった。

問 基本的な問題を今さら「詰める」こと事態が正常でない。本気で合併する気持ちが町長

物から心、量から質へ

政治姿勢について

問 物から心、量から質への価値観の展開を図り、原点回歸し、心の豊かさを大事にする思いやりのある心を持つ事が大事である。これは政治の世界においても必要不可欠で

ある。町長はこの4年間、郷土土郡に對しどれほどの思いやりの心を持って町政を進めてきたのか。

答 町がどうあるべきか、町民にとってどういう町であるべきかという事に対応してきた。実現しようとして実現できない事もある。総括すると100点とは言えないが、合格点は取れていると思う。



藤本ゆうき議員

問 公約の重みをどう認識されているのか。

答 私は公約を話して、今の立場にある。公約を100%実現するというのは理想であるが、状況で出来ない事もある。しかし、なるべく実現する事が政治家の務めだと思う。最終的には町民に判断してもらおう。

消防団について

問 町民の安心・安全な生活を守る為に尽力をいただいており、私達住民は力強く頼もしく感じている。現在、活動



いざという時のために・・・

分野においては、男性が主流であるが、今後の活性化対策等の一環として、女性の入団を積極的に進めるべきと思うが。

答 女性団員は全国的に見ても多岐にわたって活動している。女性団員が組織化されるよう推進を図ってきたい。

にあるなら町民にそんな言い訳はしないし、赤穂市にべこべこした態度はとらないはず。

答 期日は次回に提案する。

問 提案すると言っても次回の合併協議会の日程さえ決めていないではないですか。

答 ・・・。次回に提案する。

中学校移転に交通安全、治水対策を

治水対策を

問 安全な通学路対策、及び、該当地域は遊水地域と言われており地域住民に不安の声がある。周辺の治水対策を。

答 できるかぎりJ R踏切をルートとしない通学路を検討する。周辺地域には、道路、用排水計画による治水対策を行う。



上郡駅にて

町長の4年間の実績を問う

問 合併について、行政と議会とがうまく進んで来たと思われませんか。

答 当然双方の意見があり、議会とも意見が合わないこともありその結果が現在であります。

問 給食はなぜ実現しなかったのか。また、3年目途とは。

答 センター方式で実施予定で3年目途としておりますが、なるべく前倒しにするという努力をしていきたいと思っております。

問 大型ごみ処理施設建設は反対ではなかったのか。

答 ごみ処理施設に反対したものではありません、建設位置に問題があることで当初は反対していたが、処理水は

流さない施設であるとのこととで、環境事務組合が設立され、そのことについて取り組む必要があると判断しました。

問 工業団地の企業誘致の現状は？

答 町有地が一部残っており企業に売却する方向で進めております。

問 JRダイヤ改正に関してどのように関わってきたか。

答 JR神戸支社に出向き、上郡が利便性が悪くなったこと、要望事項としては新

快速の増便、上郡駅の整備などでありませぬ。



工業団地

調査もしない公約か

就任3ヶ月で公約変更

問 11町ゴミ処理施設の新設場所の移転を公約として当選した町長は3ヶ月後の施政方針演説で早期実現推進を訴えている。昨日の答弁で鞍居川に問題の無い施設だから賛成



阿部 昭 議員

したと発言しているがこれでは公約を発言する前に調査も研究もしていないことになる。首長の公約とはそんなに軽い事なのか、説明を求めます。

答 立候補する前に私なりに調査は致しましたが外部からの知りうる情報には限界があった。そして私が就任前にすでに11町の首長が全部で合意をしていた。下流に影響を与えないことを

4年間で

出来なかった給食

問 給食を実施するべく給食センターの設計も発注し、土地の買い増しも議会で議決されたにもかかわらず先送りに

されたに実現出来ませんでした。議会軽視もはなはだしい。有権者に対してどのように説明できるのかお答え下さい。

答 給食問題についてはギブアップしたわけではありませぬ。財政的にむずかしい問題もあり実現出来な



給食センターの完成予想図

った。

任期中に出来なかったと言われましたがその点につきましては十分でなかったと思っております。

その他の質問

- ・17年度一時借入金金の説明
- ・今後4年間の財政計画

確認書の再確認を

「11年と決定している」

問 にははりま環境事務組合はごみを適正に処理する責務を果たすために、その拠点施設建設に努力を重ねているところですが、しかしながら、今までの努力と信頼関係を損な



小寺政広 議員

う動きがあり危惧しています。「確認書」でありながら、当事者それぞれが自分の都合に良いように解釈していることが明らかになっていきます。姫路市では助役が、はつきりと「負担は11年と決定しており、それ以降の経費は負担しない」と答弁しています。

だから、確認書の再確認が必要であると考えますが、町長の見解をお聞きます。

答 管理者、副管理者が確認書について十分な確認をすることは必要でありましよう。

問 「確認書」の経緯について議会も町民も全く知らされていないなかった。その上に、住民との対話が不足しています。ごみ処理施設建設がここまで遅れ、いまだに住民との間で理解が得られていない原因のひとつには、情報の公開や住民との対話をおろそかにしてきたことがあると思いますが、この点についてお尋ねします。

答 十分でなかった点は謝りをしないとといけないと思っています。情報を十分に開示して理解を得たい。



組合議会

育児は最優先課題だ

次世代育成について

問 ひょうごハート・ブリッジ運動をどう評価するか。

答 県の地域福祉支援の一つであり、登下校中など安全確保では、地域が一丸となる必要がある。さらに登

録を増やすためPRに努めたい。

問 地域の連携プレーの実際はどうか。

答 青少年育成センターを中心に各種団体の連携を行っている。学校や警察との連絡会議を年2回、校区単位で各種団体の関係者で組織する青少年育成協議会は育成センターと研修会などが青少年健全育成に関する

活動を行っている。老人会や自治会が登下校中の児童を見守る活動をしている校区もある。

少子化問題について

問 育児休暇の取得状況はどうか。

答 男性の育児休業はない。ただ、妻の出産に際して2日間の特別休暇は、14年以降9名いる。

問 子どもを持たない若い夫婦への啓蒙が必要ではないか。

答 これは国の問題であり、国や県の指導を受けながら、



山野里小学校見まもり隊パトロール

町としても方向を定めていきたい。

問 結婚を奨励し促す方策を立てよ。

答 行政が取り組むには限界がある。町内には清流会が結婚相談所を開設している。県には「コウノトリの会」、「ひょうご出会いサポート」という外郭団体がある。町としては、これらのPRに一層努めたい。



赤松初夫 議員

町財政に町民の理解を

行財政改革は

すすんでいるか

問 補助金の今後の見直しについて。

答 補助金の根拠となる条例などを策定し、町の発展に寄与するもの、広域活動で



外川公子 議員

区画整理の固定資産税への影響

問 過去4年間の行政の努力

で町の借金増加が鎮静化しているが、予断を許さない。重要な歳入である町税の62%を占める固定資産税につき、評価替えの基準年度はいつ、税の種別の割合はどうか、



大政正明 議員

また負担調整措置による課税標準額の上昇はあるか。

答 18年度が基準年度である。土地、家屋、償却資産の割合は各々34%、38%、28%、

である。当町でも負担水準の調整により計算しており、地価評価が下がっても課税標準額が上がることもある。

問 評価替えは区画整理事業でも起る、駅前及び竹万の区画整理事業での評価替えと税

答 公表も重要である。近い将来考えていきたい。

問 第4次行財政改革での行動計画の数値目標達成率は、いつ、どの様な形で公表するのか。

答 10月以降、審議会を開きそのあとホームページや広報で公表したい。

防災のとりくみは?

問 昨年8月の情報伝達訓練の検証はされたか。

答 反省や要望をもとに、18年度に予算化すべきものは対応している。今年は機

収への影響を問う。また上郡1645番地は土地区分と地番現状が合わないが、課税はどう行われているか。

答 通常土地区画整理事業では使用収益の開始で評価替えを行う。駅前の場合周辺道路完成により行うので、未だ評価替えはない。竹万の課税標準額は土地は29%増だが、家屋は6.8%減である。

上郡1645番地では現況地目で仮地番課税をしている。河川敷、国有地を旧の上郡区が払下げを受けたと認識する。

現在であれば上郡区という登記はできないのだが。

問 滞納額の徴収の見込を問う。

答 18年度の国保税を含めた滞納分の徴収目標を20%として頑張りたい。



平家まつりにて

構改革による引き継ぎのこともあり、訓練を10月には実施したい。

答 7月19日の警報発令時、昨年の訓練は生かされたか。

問 地区公民館の現地本部を設定、全職員が緊急出勤した。情報伝達以上のところまではいかなかったが、現地指導本部にある程度権限を持たせること、職員個人がどう動くかのマニュアルを作ることが反省点だった。



駅前区画整理の現況

協働と参画

町政の基本姿勢

問 「情報開示による協働と参画」の町づくりは。

答 いろいろ工夫し、努力をしてきたが、十分とは言えない。今後は町民の中へ出て、顔と顔を合わせて、



由田 五千雄 議員

説明や意見を聞くようなしくみをつくりたい。

合併問題

問 赤穂市との合併に向けての進捗は。

答 現在進めている14の優先協議項目も大分詰まってきた。今年度中、あるいは来年度の早い時期迄には24の協定項目のすべてにおいて協議を終え、住民に説明会を実施していくようにしたい。

行財政改革

問 18年度より向こう5年間で40億円の目標設定を掲げた行財政改革を、どのように進めるのか。その決意は。

答 ①事務事業の見直し②民間活力の導入③補助金負担金等の整理合理化④組織機構の見直し⑤職員の定員管理、給与の適正化等により進めていく。危機的な財政状況を回避するために急務であり、やり遂げなければならぬ。進捗については、本改革を策



ゆかたコンテストで

定した審議会において、年度毎に検証し実効性を強化する。町民の協力を得て成功させたい。

ぼくはバスケットが大好き

「バスケットのおうえん」

船坂小学校 2年 沖中優斗

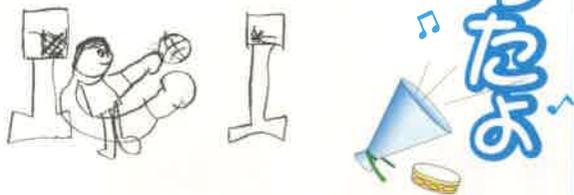
「イエーイ！」

さいしよは、かっていたけど、後から負けてしまいました。ぼくらのおうえんがたりなかったと思います。ぼろ負けでした。さんねんです。けっきょく、三になりしました。でもまあまあ強いほうです。

三つこも

こんどがあるよ

がんばろう



「国体のバスケット」

山野里小学校

3年 梅田綾乃

わたしは今日、国体のバスケットを見に行きました。はじめに、国体でやる人の練習をみました。すごかったです。ついに本番！わたしは、千葉をおうえんしました（千葉と山形で勝負しました）でも千葉は負けてしまいました。山形は強いんだなあと思いました。私の運動会と同じでした。千葉の人、かなしい思いをしているだろうな。でも、ぎやくに山形の人は、うれしいうらな。人にはいろいろな思いがあるんだなあと思いました。



「国体で思ったこと」

韮居小学校

4年 森中文瑠

ぼくは今から、「すごい」と思ったことを言います。まず一つ目は、沖繩チームの小さい人が3点シュートを決めていたことがすごかったです。背が低いのに遠くの高いゴールへ、入っていたからです。その人は、相手がシュートを失敗したとき落ちてくるボールを、高くジャンプして、相手チームの背の高い人からよりも早く取っていたことがもう一つのごいと思ったことです。ぼくはこの人を見て、「背なんか関係ない！やれることをやればいんだなあ」と思いました。

になりました。



副議長 山本 守一

議長 正木 悟

**正副議長
就任ごあいさつ**

町民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、10月6日の臨時議会において、図らずも議長、副議長に就任することになりました。身に余る光栄であり同時にその責務の重大さを痛感いたしております。

地方分権の時代と叫ばれて幾年か経ちましたが、我が町の将来は、町民の皆様と議会、行政が一体となって考えていかねばなりません。

長く続いた不況の嵐も、都市部においてはほぼ過ぎ去ったものの、地方においては、依然として明るい兆しが見えないのが現状です。

当町におきましては、大型店舗の建設によりその周辺部も含め、多少ながら活気を取り戻しておりますが、厳しい財政状況であることに変わりはなく、今後は、住民サービスの低下を招かないよう、工夫を凝らした行政改革を着実に実行していく必要があります。

常に住民の代表としての議決機関であるとともに、監視機関であることを忘れることなく、町の発展と住民福祉の向上を図るため、渾身の努力をいたす所存であります。

何卒、町民各位のご指導と、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新しい議会構成

総務・文教 常任委員会



委員長
藤本 祐規

当委員会の所管は、企画総務を始め、税務、会計、教育と多岐に亘っております。

各分野をより専門的に調査し審議する事を主に担当しており、緊急の課題としましては、中学校移転問題等重要な課題が山積しております。委員一同、日々研鑽を重ね、上郡町の充実発展に努めてまいりますと思っております。



委員
大政 正明



委員
沖 正治



委員
村上 昇



委員
正木 悟



副委員長
外川 公子

土木水道 常任委員会



委員長
阿部 昭

当委員会所管の水道事業所と下水道課が統合しスタートを切りました。また、千種川河川改修事業（総事業費139億円）が5ヶ年の期間付きで始まりました。

本町にとって命運をかけた事業といっても過言ではありません。駅西ポンプ場建設工事も着工の運びとなりました。行政と連携して全ての事業が安全に完成するよう委員全員心を合わせて努力してまいります。



委員
橋本 正行



委員
松本 行人



委員
赤松 初夫



副委員長
由田五千雄

届けます。

上郡町は『福祉宣言の町』として、障害のある方はもちろん、乳幼児からお年寄りすべての方々が安心して住み続けられる町づくりにまい進してきてきました。

しかし、少子・高齢化の波で、このままでは、上郡町の人口が40数年後には約半数になることが予想され、福祉施策の後退も危惧されています。

私達、委員5人は町民の皆様への福祉の向上と継続に尽力することをお誓いしご挨拶といたします。



委員長 工藤 崇



委員 山本 守一



委員 高尾 勝人



委員 田淵 重幸



副委員長 小寺 政広

当委員会は、会議に係わる条例、規則等に関する事項や議長との諮問に関する事項などの調査を行い、議会の円滑、効率的な運営を図ることが主な業務です。町議会への関心と議会を身近に感じていただくため、子供たちによる模擬議会や土曜日曜の休日議会、議員と町民の皆様との懇談会の開催等を今後検討していきたいと考えています。

町民の皆様が目線に立った議会であるよう、委員一同鋭意努力してまいります。



委員長 沖 正治



当委員会は、合併問題に関する事項について、協議を進めるために議長を除く全議員で構成しています。

上郡町をとりまく諸問題と将来を考える時、合併は避けておこなうことのできない重要な課題です。赤穂市との合併協議も第13回目を迎える中で、町民の皆様と共に、将来の町



委員長 高尾 勝人



- 副委員長 赤松初夫
- 委員 由田五千雄
- 高尾勝人
- 田淵重幸
- 村上昇

町民の声を

各事務組合等の委員

環境保全対策審議会委員	外川公子 阿部 昭 村上 昇
都市計画審議会委員	大政正明 藤本祐規 工藤 崇
赤相農業共済事務組合議会議員	工藤 崇 正木 悟
安室ダム水道用水供給企業団議会議員	阿部 昭 正木 悟
播磨高原広域事務組合議会議員	大政正明 阿部 昭 小寺政広 村上 昇 正木 悟
にしはりま環境事務組合議会議員	村上 昇 正木 悟

づくり、住民福祉サービスの充実に向けて委員一同、全力で取り組んでまいります。
副委員長 松本行人
他、13名(議長を除く)

沖 正治

監査委員

広報調査 特別委員会



委員長 外川 公子

時代の流れとともに生活をとりまく社会環境はより複雑になってきました。その中で、広く公平な情報を皆様にお伝えすることは重要な責務であると考えております。

「議会だより」の紙面づくりにおいても、今後も、「わかりやすく、見て楽しい」をモットーに、広報活動を続けてまいります。

副委員長 橋本正行
委員 赤松初夫

高尾勝人
山本守一



新構成の編集メンバー





かみごおり
議会だより

No.59

平成18年11月1日発行

発行/上郡町議会
編集/議会広報調査特別委員会

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278番地
☎(0791)5213512 FAX(0791)5216650
メールアドレス(gikai@town.kamigori.hyogo.jp)



みんな



盛り上がった『国体』



議会ホームページから
会議録がご覧になれます。

町のホームページからアクセスできます。
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

傍聴へどうぞ!!

★ 車椅子もあります ★

次回は12月7日開会予定

編集後記

兵庫県において50年ぶりに
行われた「のじぎく兵庫国体」
が、県内各地を競技会場と
して盛大に開催されました。
今年も、皆様ご存知の「ハ
ンカチ王子」や「卓球の愛
ちゃん」の参加により例年
にない盛り上がりを見せて
います。

お年を召された方の中に
は50年前を思い出された方
もいらっしやったのではな
いでしょうか。

又、ボランティアで大会
をサポートされた方は、期
間中、お疲れになったでし
ょうが、良い記念になった
ことと思います。

さて、旧編集委員による「議
会だより」の発行は、今号
で最後となります。

未熟な面もあったかと思
いますが、ご愛読いただき
誠にありがとうございます。
今後も引き続きよろしくお願
いいたします。

広報調査特別委員会